

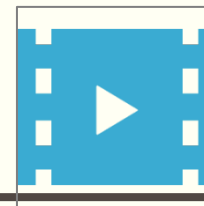
交差点編 (優先道路)





優先道路の見極め

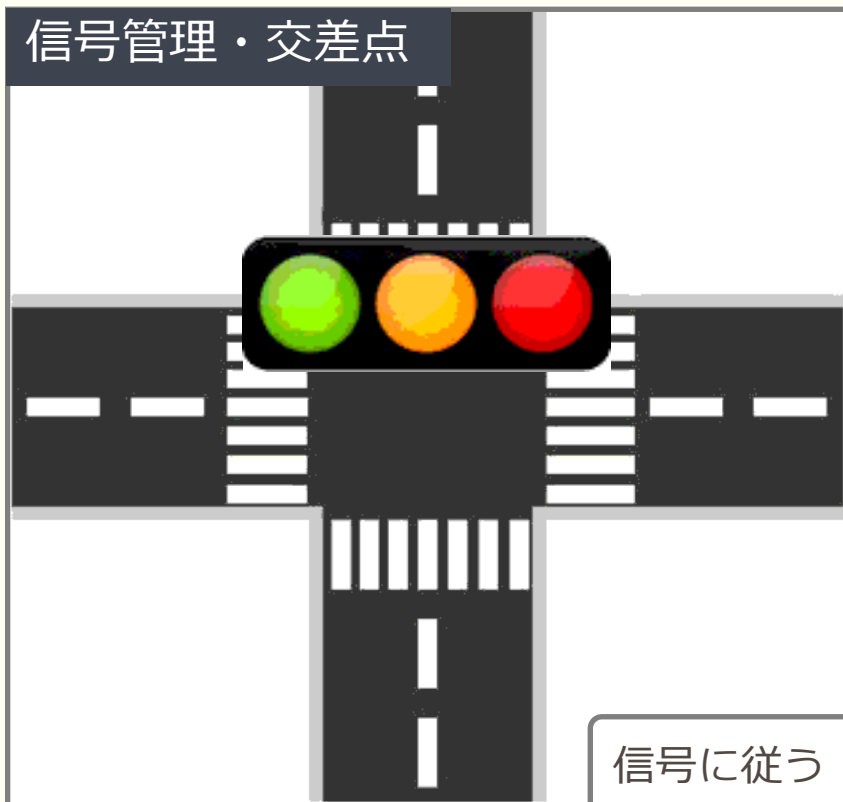
交差点の基本構造



Basic
knowledge

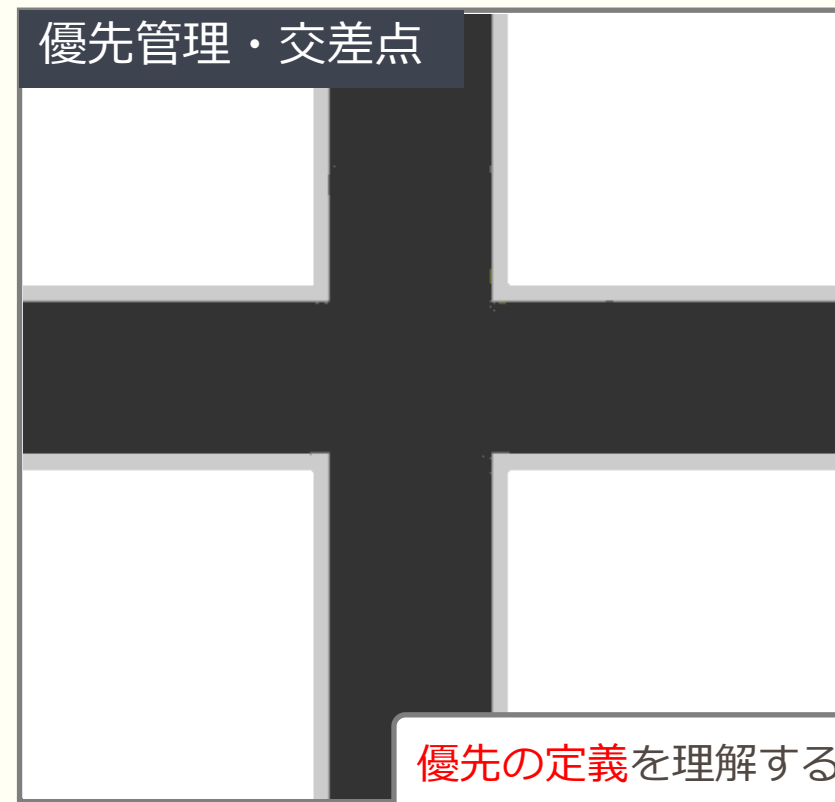
交差点は「信号管理」と「優先管理」の2種類があります
信号のルールは明確なので「優先管理」のルールを把握することが重要です

信号管理・交差点



信号に従う

優先管理・交差点

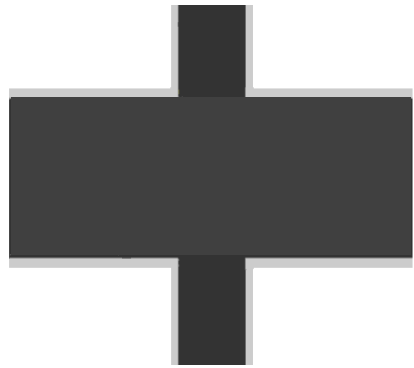


優先の定義を理解する

優先道路の本来の定義

Basic
knowledge

①道幅が広い方が優先



②線がある方が優先

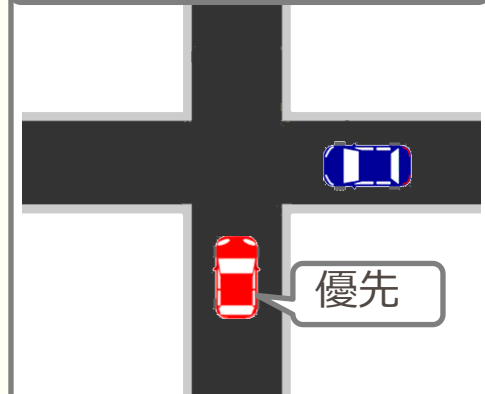


中央線



車両通行帯

③同じ条件は左方優先



法律上は上の3点で判断を下さい。
となっております。
しかし、**実際には使われておりません。**
事前に判断することが視覚的に無理がある
からです。

また「一時停止」が整備されていることも
大きな理由です。



線も広さも解らない

信号のない交差点の基本構造

一旦、交差点の基本構造を確認しましょう

「止まれ」と「表示なし」がワンセットになっています



実用的な判断方法

Basic
knowledge

殆どのドライバーは「止まれ」の「あり・なし」で判断をしています
止まれがある場合は非優先が確定し、止まれが無い時は優先と判断しておく。これが現実的な基準です。



標識・表示がある
→ 「非優先」が確定する



何も書いていない
→ 「ほぼ優先」と判断しておく

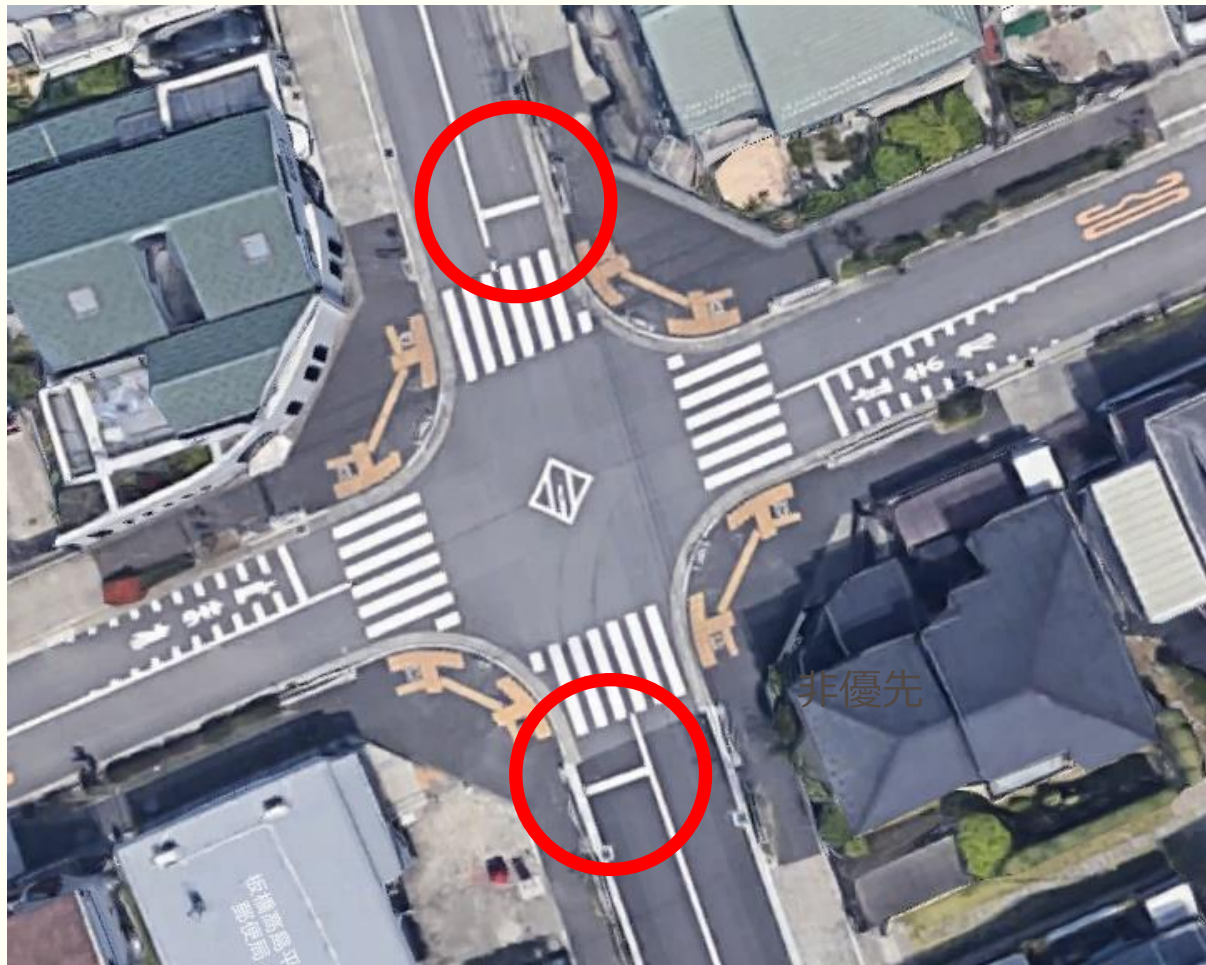
相手側の道路も確認しましょう

Basic
knowledge



田舎の道路や新しい住宅街等には「何も書いていない交差点」もあります
そのため、書いてなくても確定せず「相手側の止まれ」を確認してから**確定の判断**をしていきましょう

横断歩道がある交差点



このような交差点では
大原則として「歩行者優先」となります。

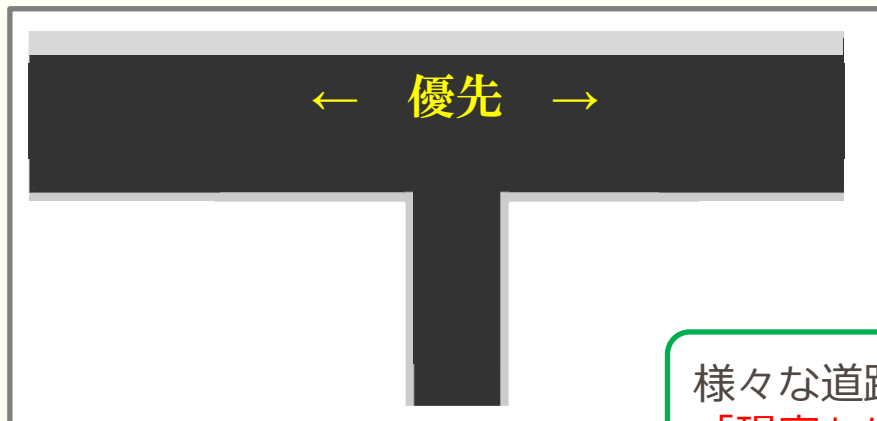
ここでの停止線の意味は
歩行者がいる場合、車両は止まりなさい
となります。

歩行者がいない場合は「車両vs車両」の
解釈となります。

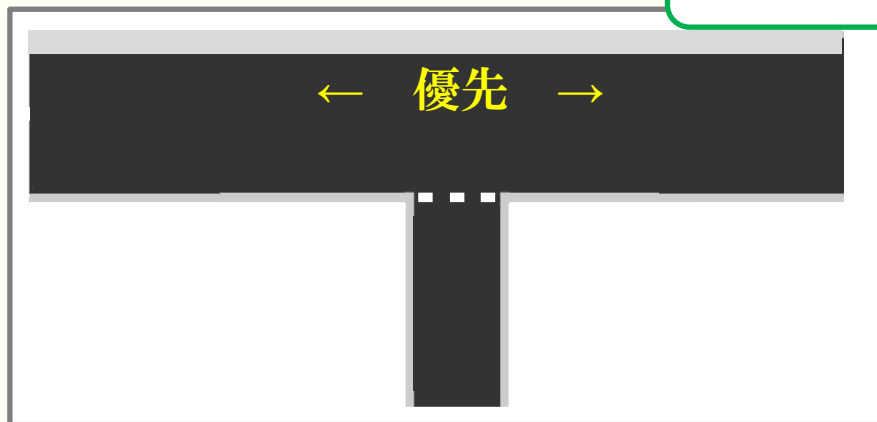
停止線があっても
「必ず止まれ」
ではありません



T字路での優先関係



様々な道路標示がありますが
「現実」は図の様に解釈されています
(※厳密な法解釈ではありません)



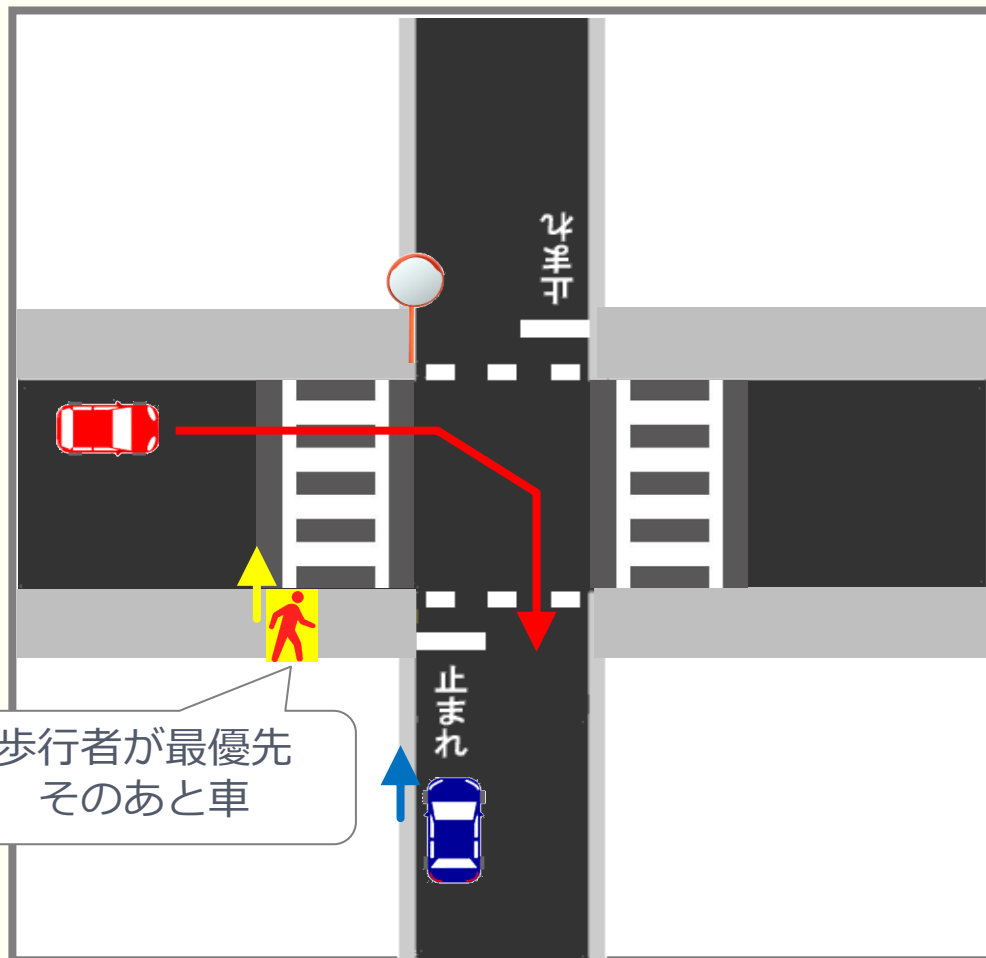


優先道路のポイント

第1判断 歩行者優先



Basic
knowledge

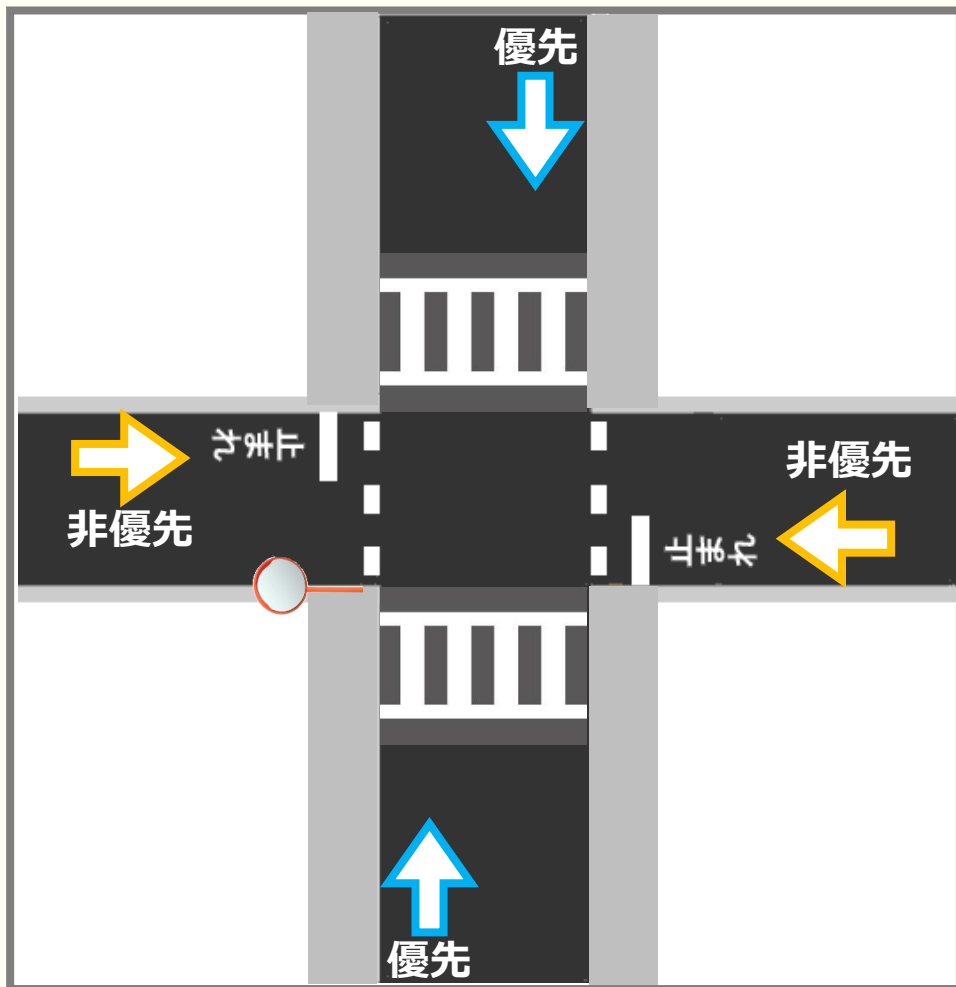


【第1判断】
信号のない交差点では歩行者が優先になります。

「自転車」や「オートバイ」を
押して歩いている人も
「歩行者扱い」になるよっ！



第2判断 優先道路

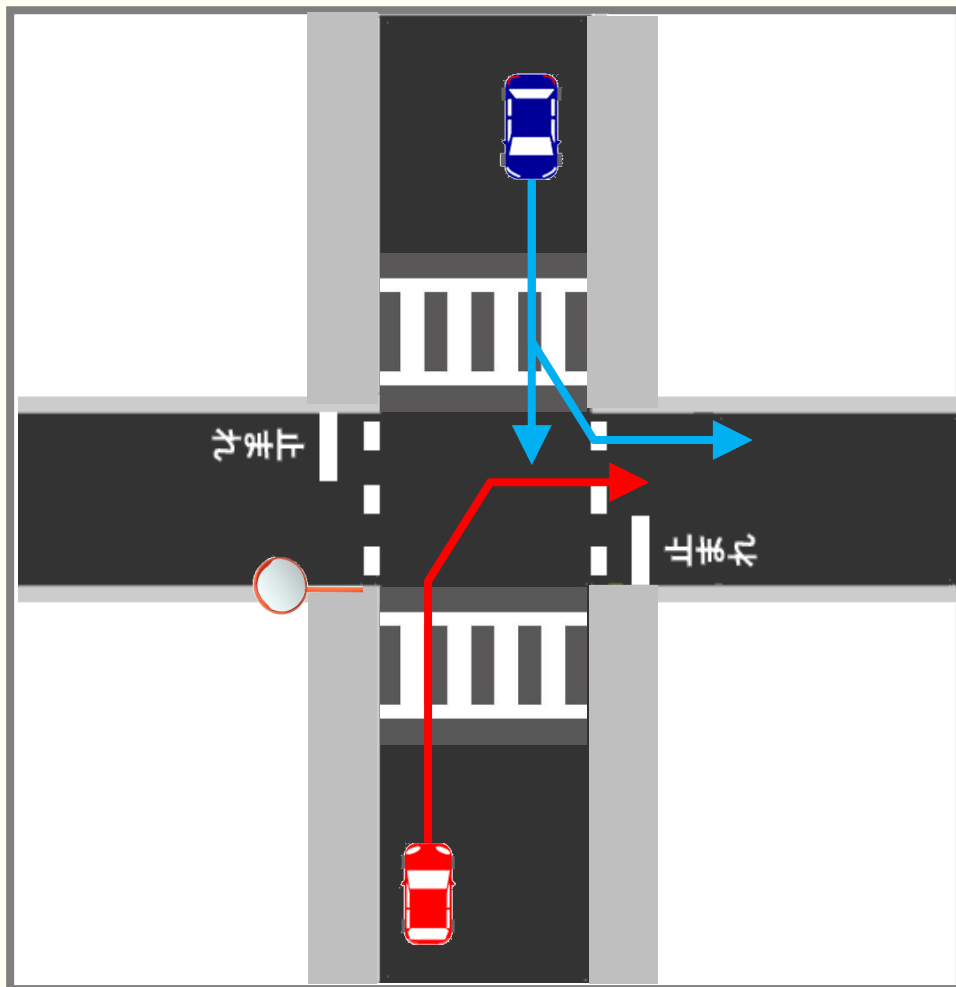


【第2判断】
歩行者の次は
「車vs車」の関係性を判断します

どちらの道路が強いのか？



第3判断 右折が最後



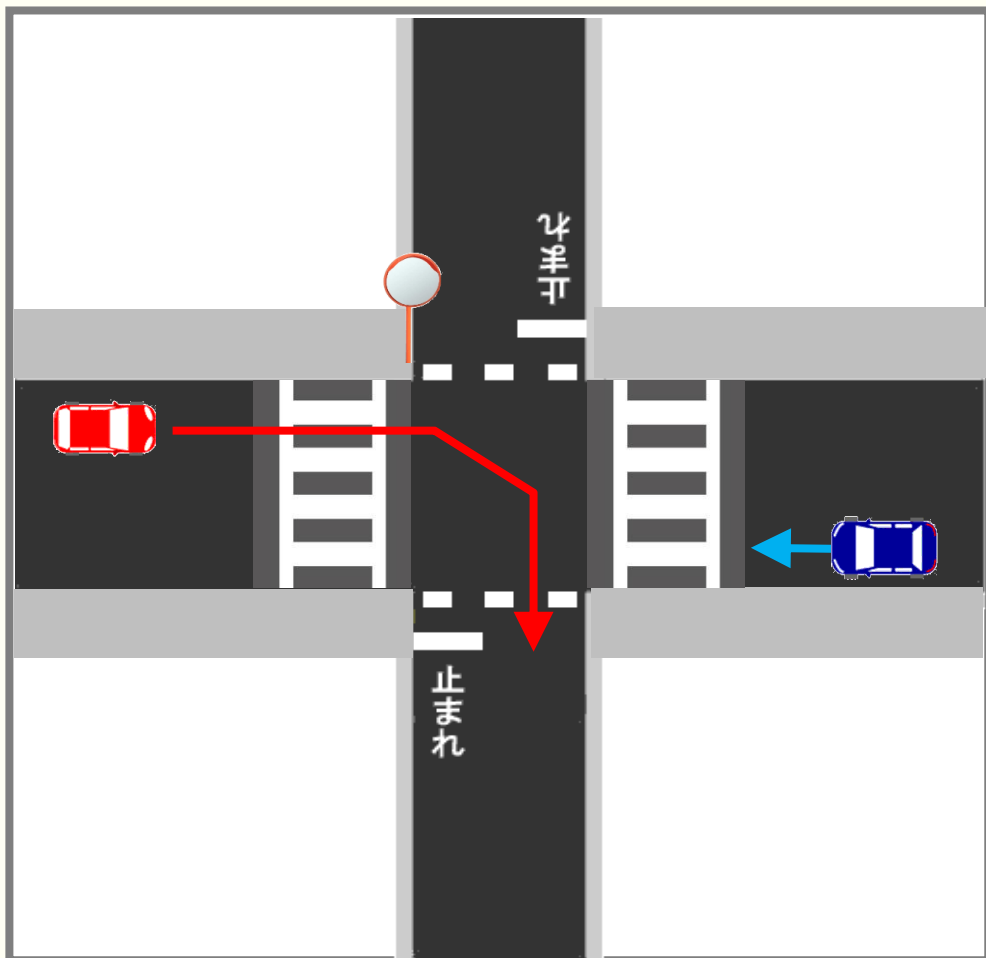
【第3判断】

「優先同士」（非・優先同士）の場合は
「右折は最後」と覚えておきましょう

- ①直進車・左折車である青車が最初
- ②右折車である赤車が最後

優先関係の問題①

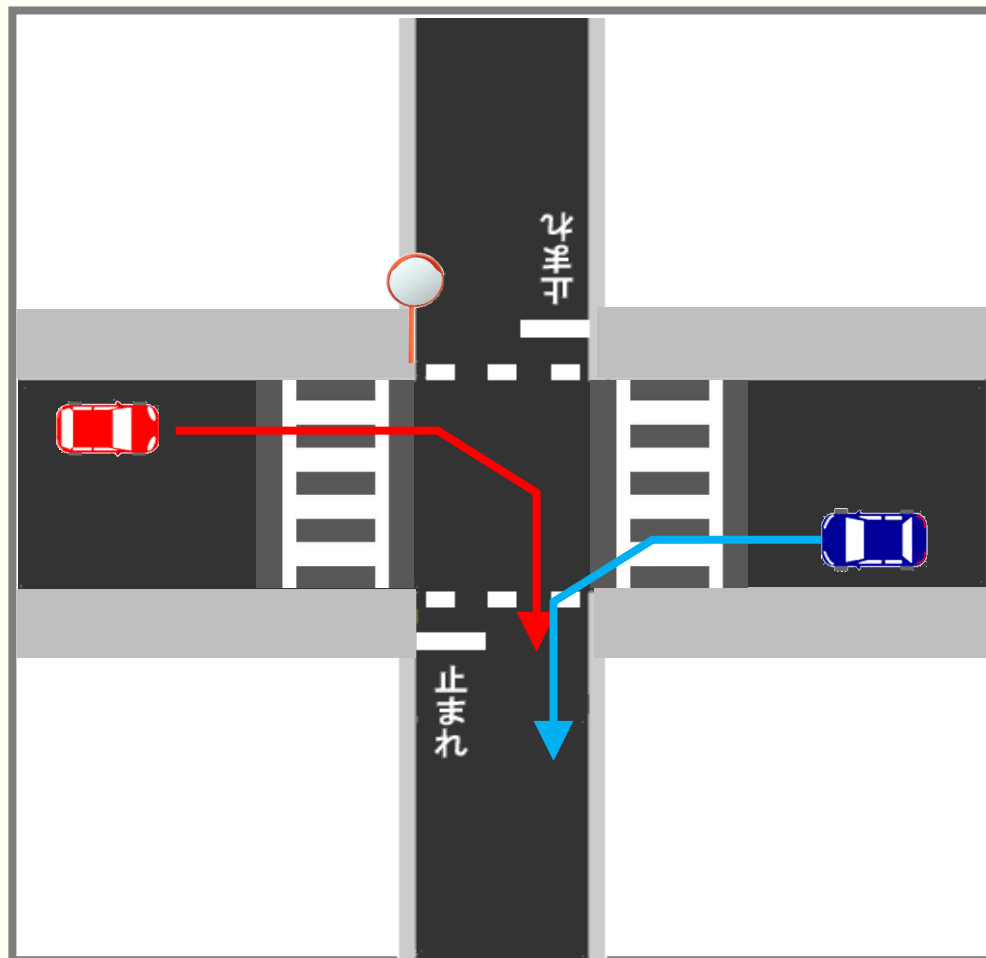
Basic
knowledge



どの順番が正しいですか？

答え
①青
②赤

優先関係の問題②

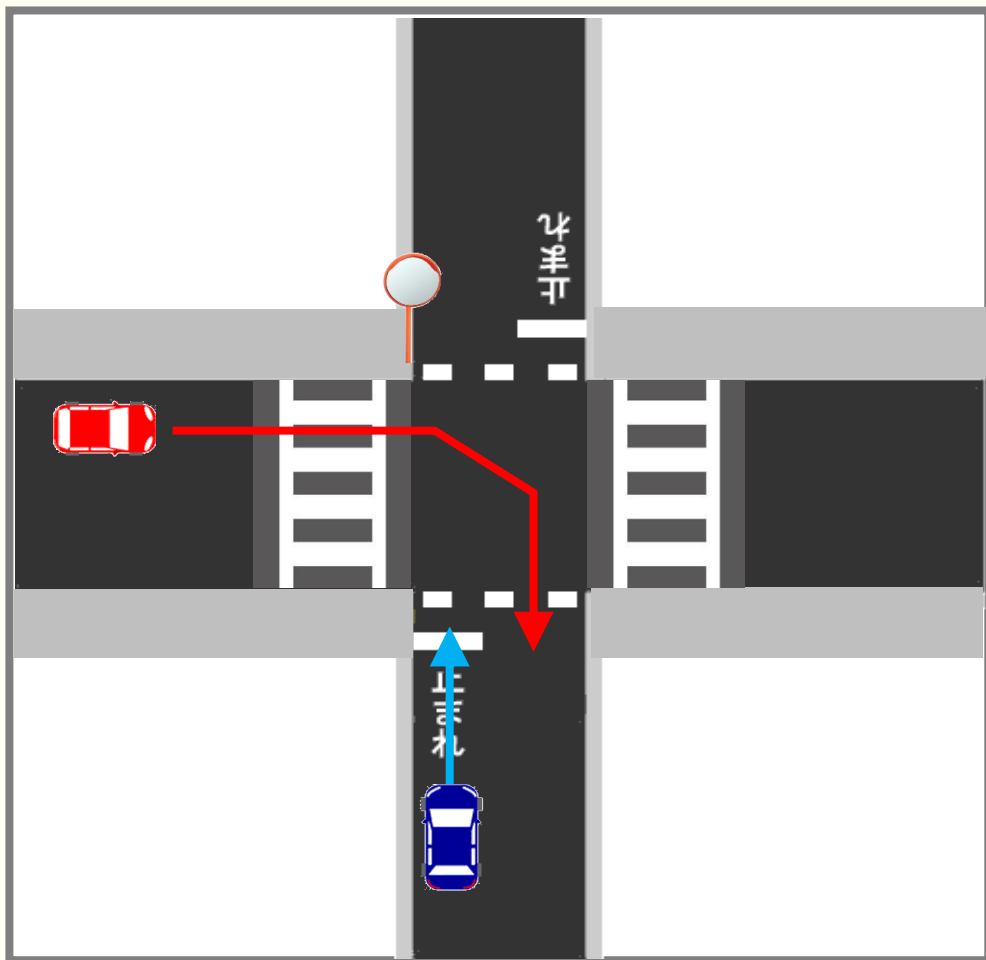


どの順番が正しいですか？

答え
①青
②赤

優先関係の問題③

Basic
knowledge

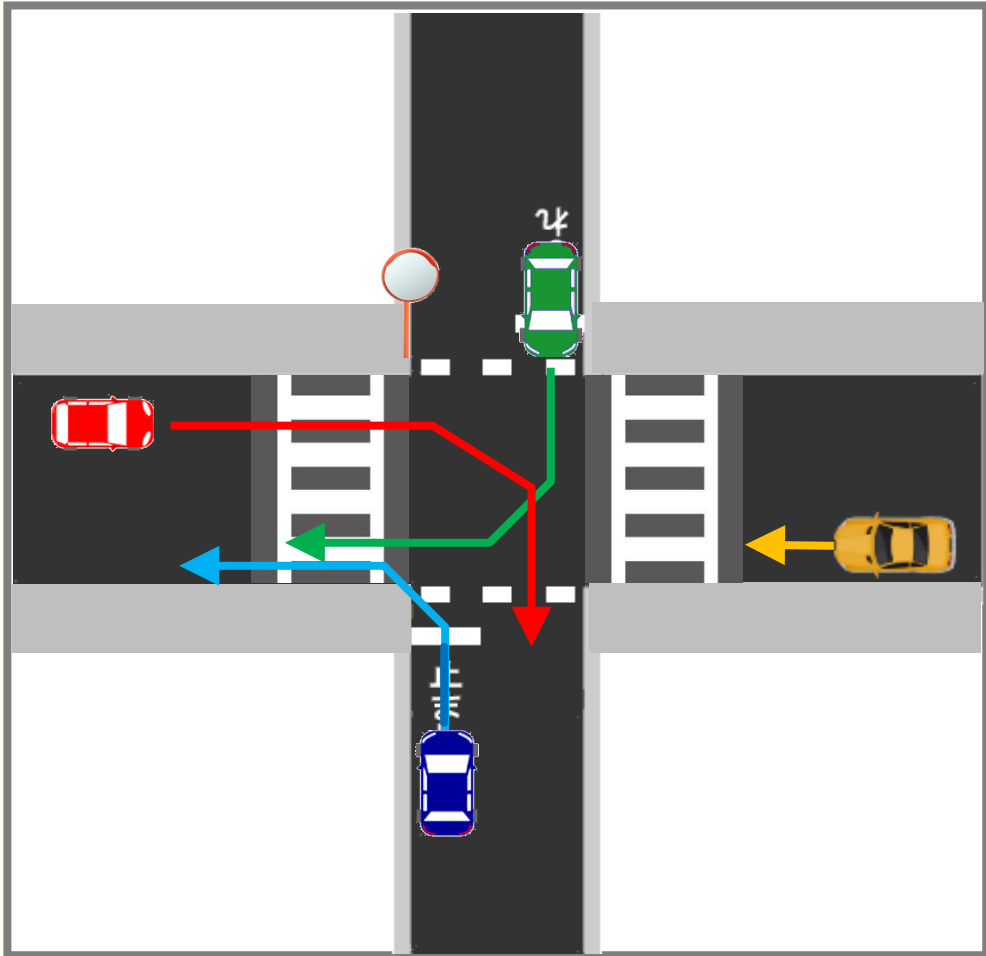


どの順番が正しいですか？

答え
①赤
②青

優先関係の問題④

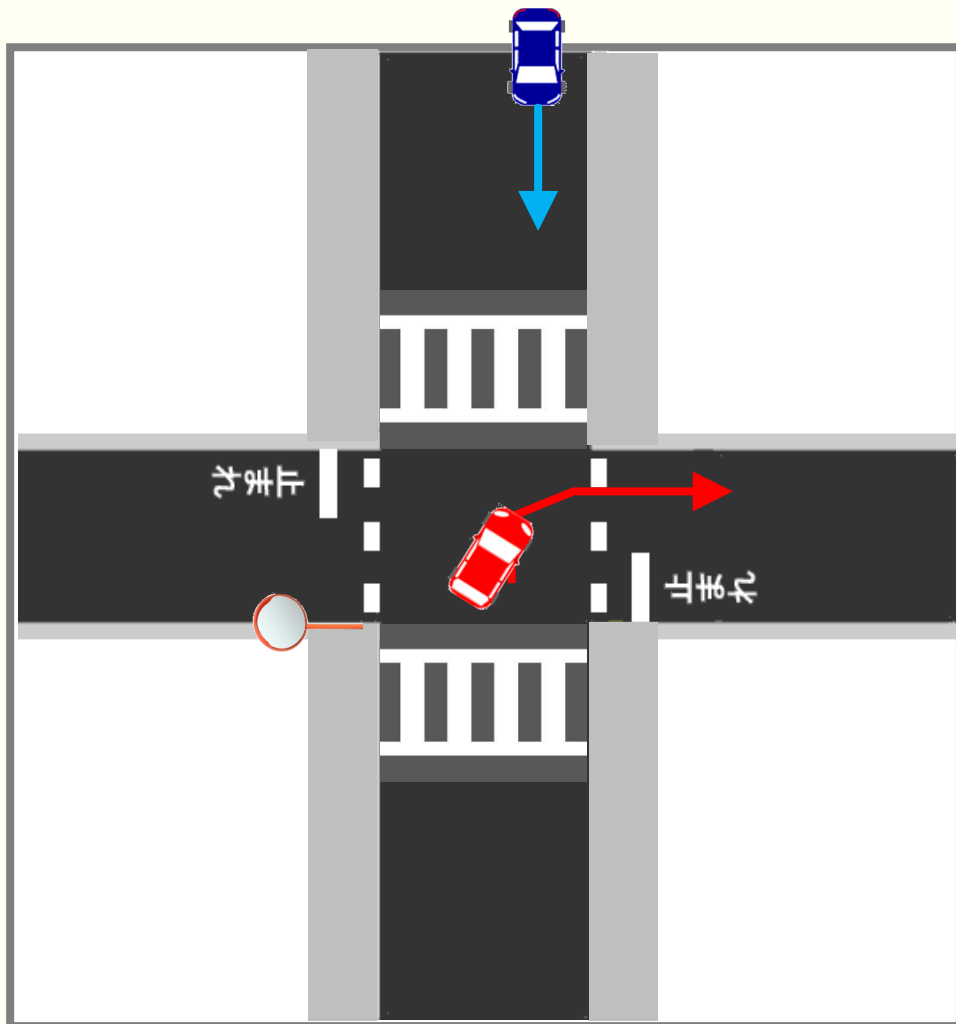
Basic knowledge



どの順番が正しいですか？

- 答え
①黄色
②赤
③青
④緑

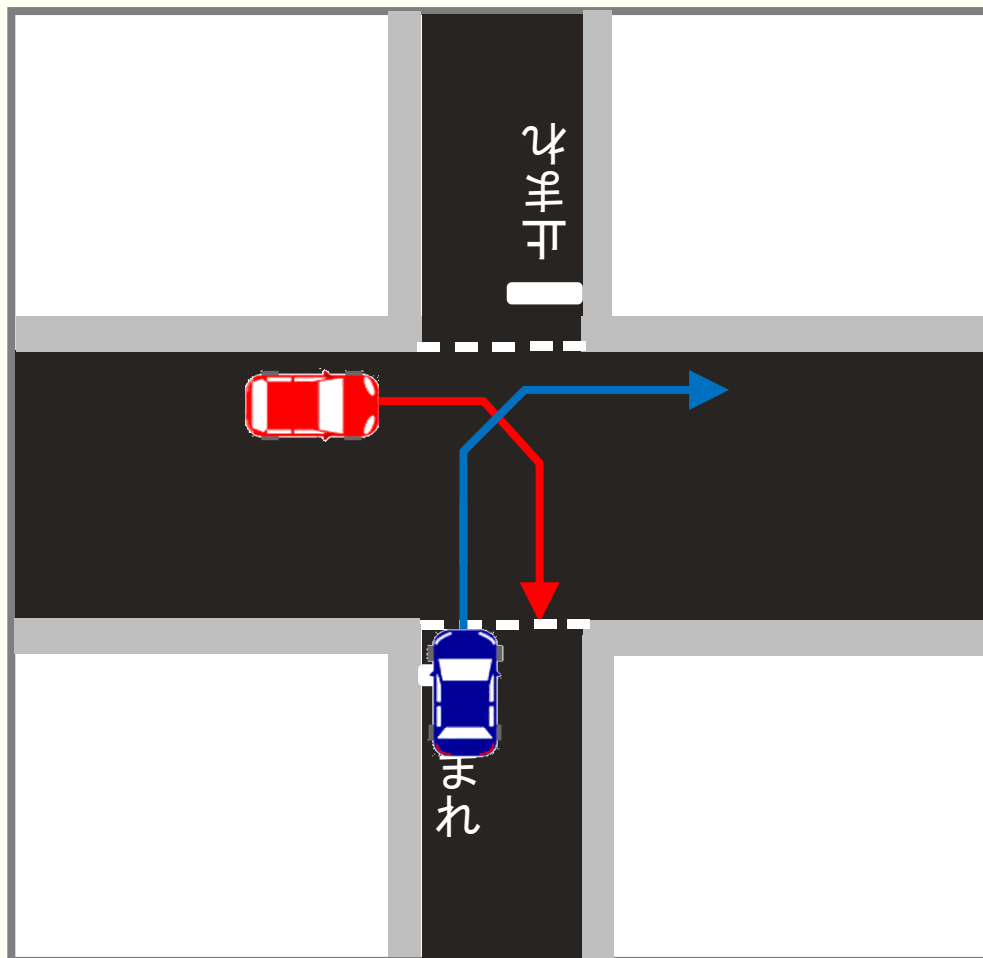
進入タイミングでの優先関係



交差点に
「明らかに先に進入・行動している車両」は
優先的に通行します。

この場合
①赤車
②青車
となります。

優先関係を崩す車両



【問題】

このケースでは赤い車両に優先権があります
しかし、赤い車両は止まったまま動いてくれません
何故でしょう？

【答え】

この時赤い車両は「青い車が先に行ってくれたら、
俺が楽に曲がれるのに」と考えています

基本的に優先関係を崩すのは良い事ではありません。
しかし、来てくれない場面も発生します。
そんな時は、赤い車両の意図を汲んで行動すること
も、時には必要になってきます。



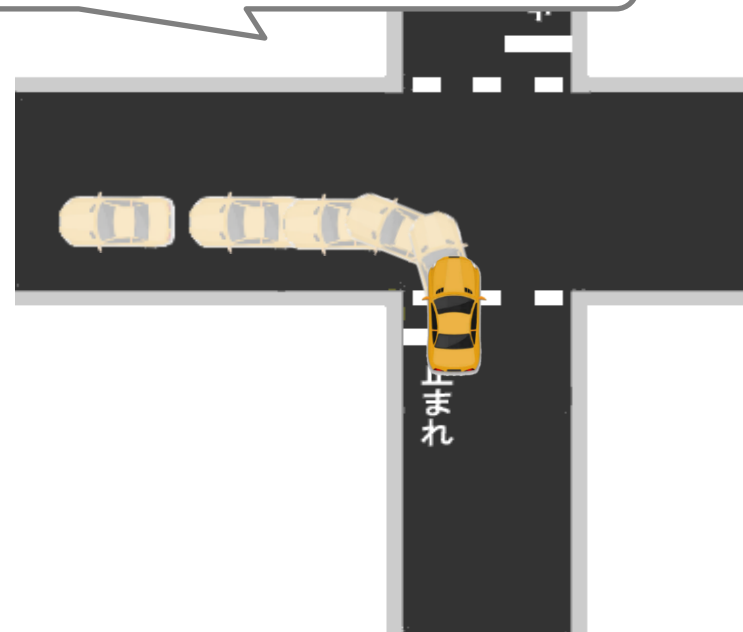
複合動作

複合動作のミスエイク



【POINT】
「取るべき走行ライン」は取らなければなりません
しかし「確認」に気を取られ「走行ライン」の意識が抜けてしまいます
本質は「走行ライン」と「確認」の同時処理

正しい走行ラインを意識して
曲げるべきタイミングで曲げる



トレーニング

【目的】

目（確認）

手（ハンドル）

足（アクセル・ブレーキ）

上記3点の同時コントロール（同時意識）が出来るようになる

【方法】

「声掛け」しながら反復する

「意識の配分」がポイント

【声掛けワード】

①確認しながら

②回しながら

③ブレーキも忘れない

【POINT】

一朝一夕では身に付かない

「初期コントロール」の段階から
継続的にトレーニングしておこう



非・優先道路での対応

一時停止の「見る場所」



一時停止の「一連動作」

「頭出し」のポイントは
皆が「**気付いて止まれる**」程度のスピード
進みながら「**左右にキョロキョロ**」です！



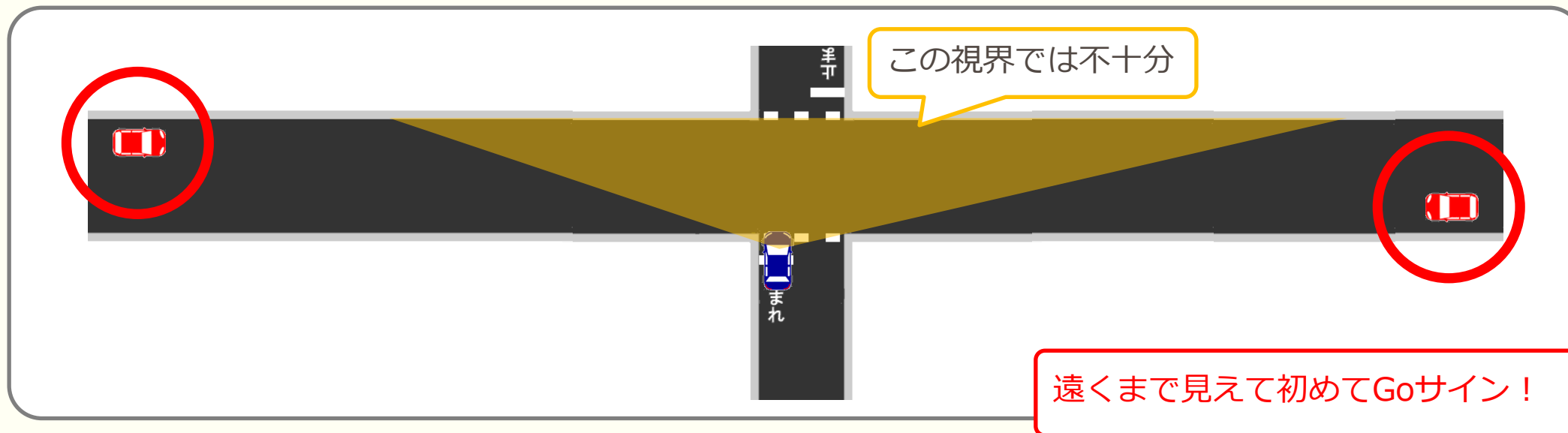
【一連動作】

- ①停止線で**止まる**
- ②歩道確認しながら**頭出し**
- ③道路際で**再確認**
- ④車両が来てたら止まる
来てなかったら行く



遠くまで見えてからGoサイン

Basic
knowledge



非優先での視点

Basic
knowledge

遠くまで見えて初めてGoサイン！

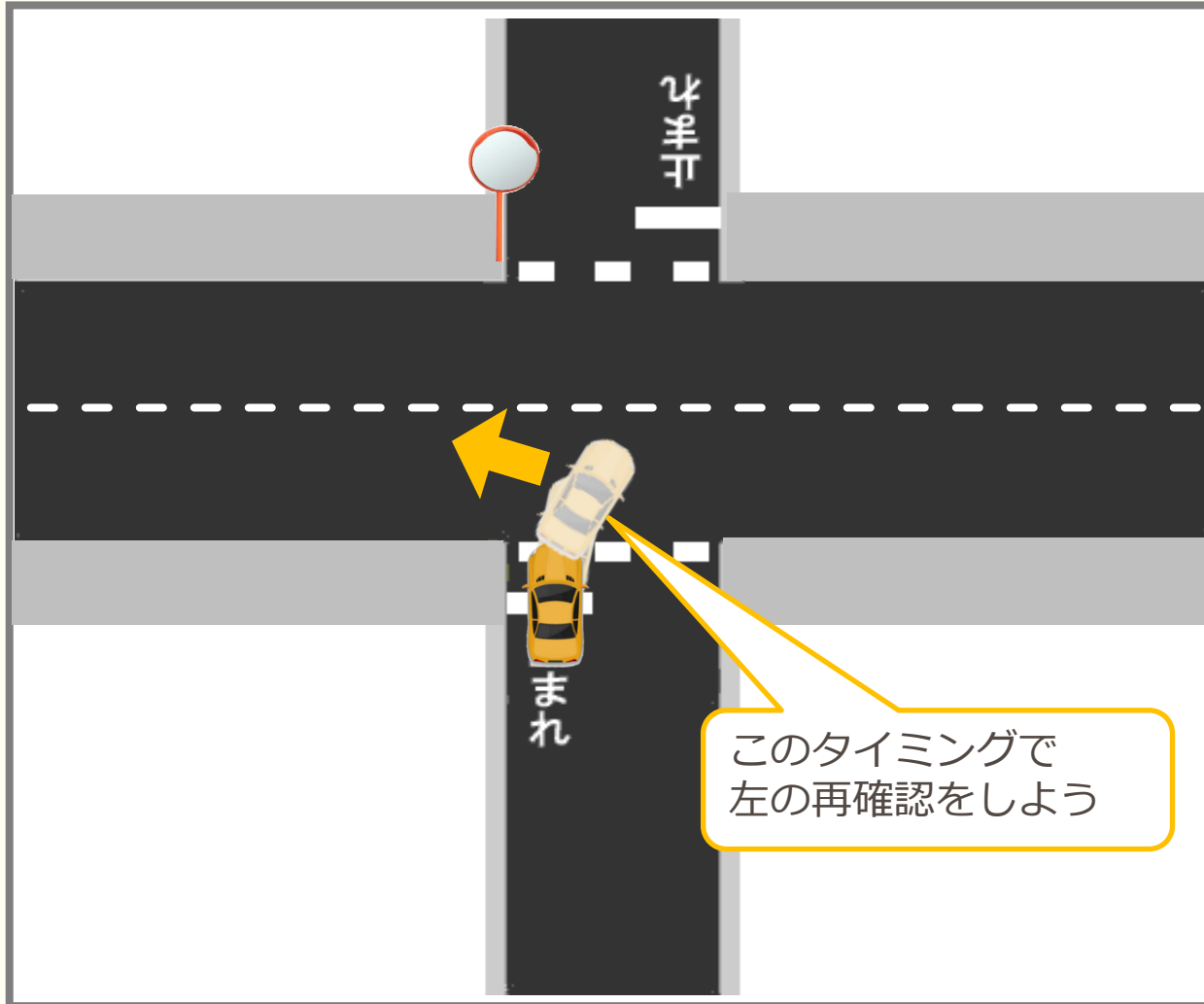


【POINT】

道路際に出れば出る程「見える」様になる
「見える」までゆっくりそろーり「頭出し」

想定外の事故を防ぐ動作中の再確認

Basic
training



トレーニング

【目的】
状況変化や想定外による事故を防ぐ

【方法】
「知識の習得」と「実践の反復」
苦戦する場合は複合動作に戻って
再トレーニング

めっちゃ「ビューン」って
速い車がいるのー

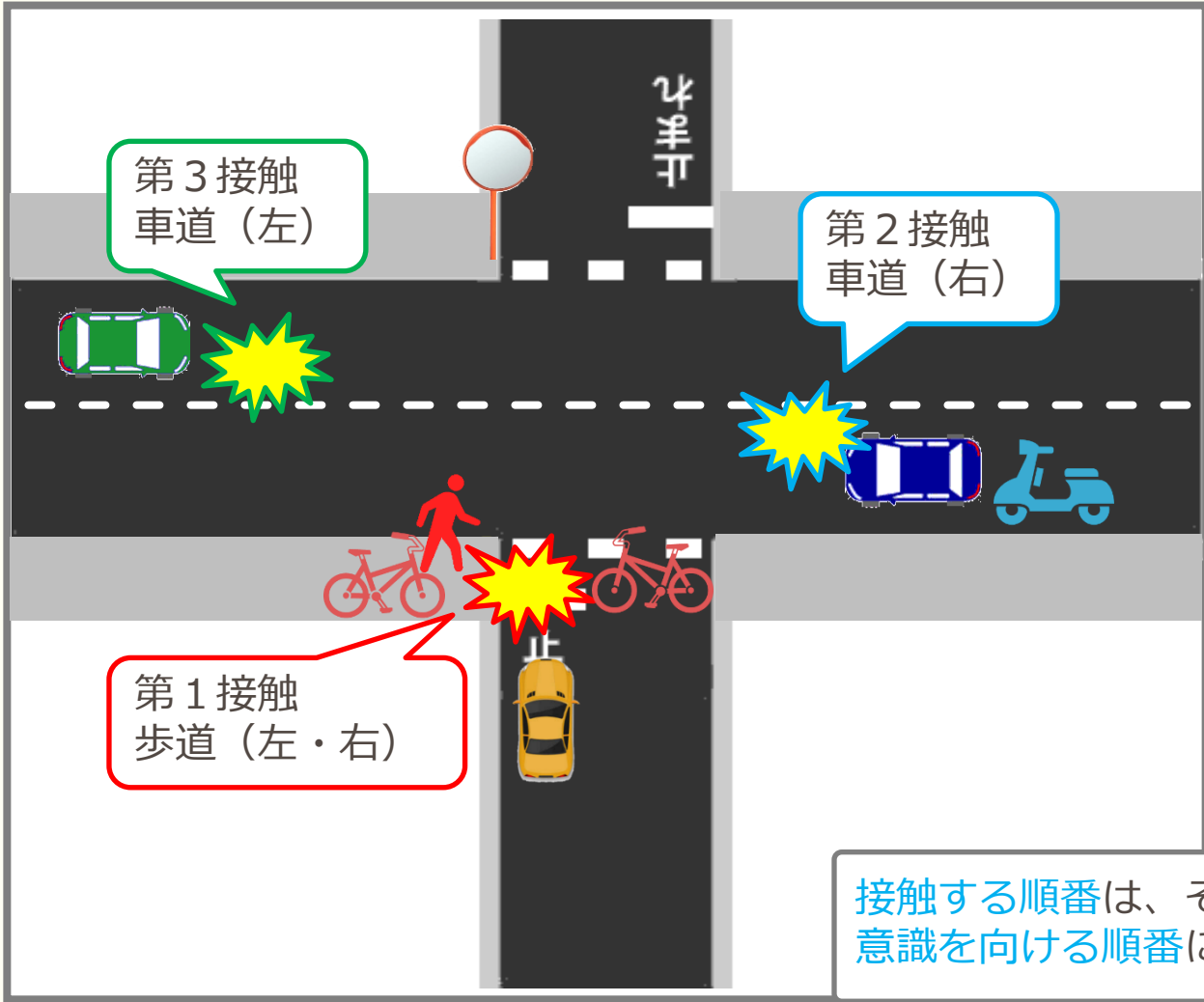


「複合動作」が安定している
方は難なく出来そうですね



接触の順番も覚えておこう

Basic knowledge



確認する時の態勢

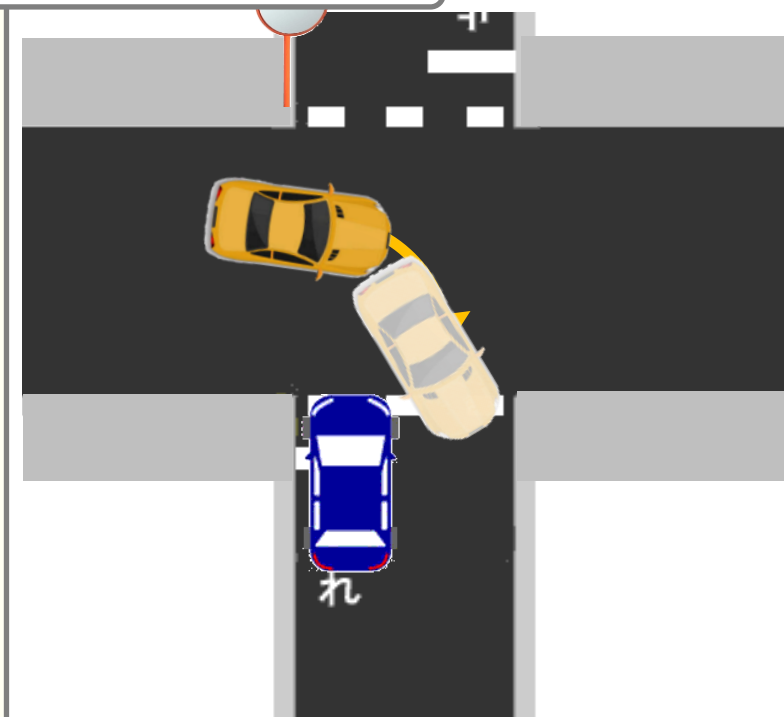
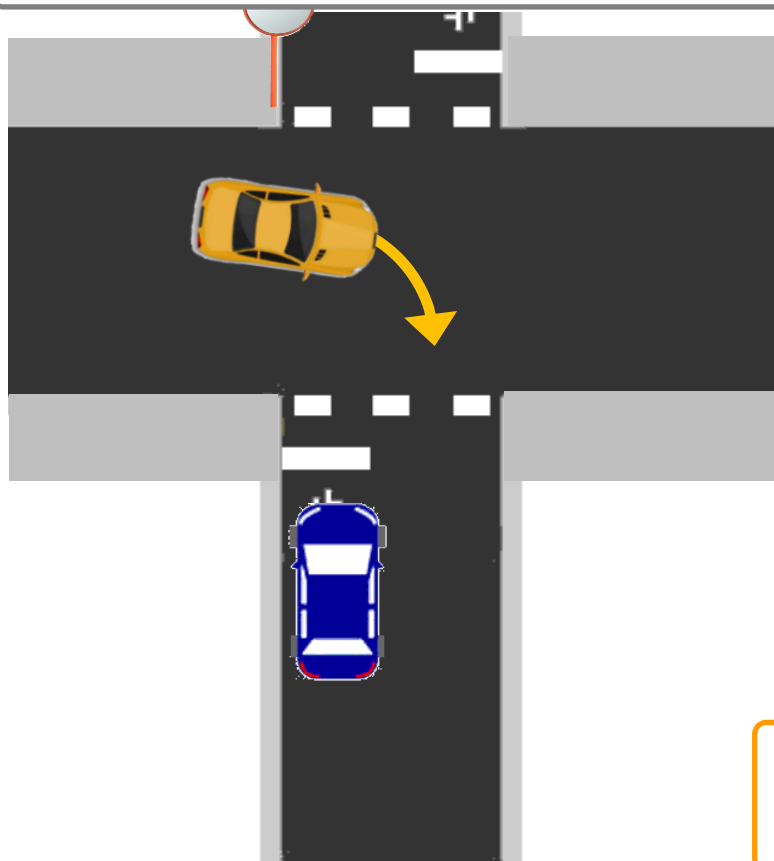
Basic
knowledge



確認する時は、必要に応じ「身を乗り出して」確認を行いましょう

相手が来たら手前で止まる

「狭い状況」で相手が曲がり気配の時「予測せず前が出る」のはやめましょう
人によっては「挑発されている」と捉えられてしまいます



【POINT】
「斜め進入」「斜めすれ違い」になることを想定しておく

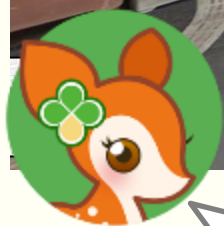


優先道路での対応

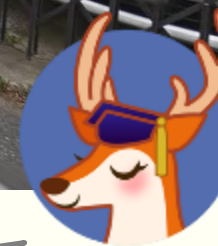
優先通過時の「見る場所」



優先通過時の「視界」



「優先」なので
遠くまで見過ぎる必要はないよっ！

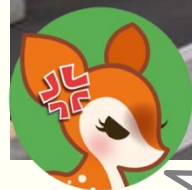


最低でも、この程度の視界を
確保してから通過しましょう

優先通過時の「一連動作」



基本的なスピードは
「エンジンブレーキ」 + 「軽ブレーキ」ですね



左、みぎ、左、みぎ、左 !!!

【一連動作】

- ①カーブミラーのチェック
速度調整
- ②左右の確認
- ③通過する



「センター寄り」走行の考え方



対向車きてたら
やっちゃダメだよ?

基本はキープレフトで走行します。
しかしこの様な場面では左サイド
の飛び出しをケアする意味で
「センター寄り」で走行しても問
題はありません。

対向車いないから
センター寄りで左ケア

本当はキープレフトだけど

大きな減速が必要な場所



「見通しの悪い交差点」では「飛び出し=即接触」
となるため、十分な減速をして通過しましょう

【POINT】
住宅街・狭い・交通量が少ない
等の特徴のある場所では
「車両への意識」が希薄化し
飛び出しの確率が高まります

こんな場面も要注意

Basic
knowledge



「遊歩道」の様に「通り抜け」がしやすい場合
「自動車に対する注意力」が散漫になりがちです



「駅前」の付近では
「交通ルール」への意識が希薄化し
「歩行者の優先意識」が強まります